

顔

目尻に幾重ものしわを寄せて笑う男性、嫁ぐ孫に話し掛けられほほ笑む認知症の女性……。『OVER 60 全国スマイルコンテスト』は、60歳以上の「す

てきな笑顔」を競う企画だ。自身が社長を務める都内の会社で、社会貢献事業として初めて実施した。

自薦他薦を問わず「一番幸せな笑顔」の写真を募集。

昨年11月から今年3月

までに、47都道府県か

ら1416人分の笑顔

が集まった。撮影の技術ではな

く、「人生がにじみ出ているか」

という観点で、プロデューサー

の残間里江子さんと厚生労働省

の高齢者支援担当者らが審査

し、7月、男女1人ずつ「笑顔

のグランプリ」を決めた。

31歳で大手広告会社を辞めて

起業。高齢者向けに衣類や食品

などの通信販売を手がけるうち

に、「生活を楽しむ前向きなシ

ニアが多い」と実感した。「病

気や介護など高齢期の暗いイメ

ージを変えたい」と社内でイベ

ントを検討。「笑顔は、いつで

もどこでも、お金がなくても作

れる」とテーマに選んだ。

コンテストは来年も開催す

る。「人生が刻み込まれた笑顔

には、日本中を元気にする力が

ある」と確信している。

(社会保障部 安田武晴)



撮影・松田賢一

白形 しらかた
知津江 ちづえ さん 41